

高等学校 令和8年度(2学年用) 教科 国語 科目 古典探究

教科: 国語 科目: 古典探究

単位数: 3 単位

対象学年組: 第2学年 A組~ H組

教科担当者: (AB組: 岩瀬・濱谷) (CG組: 岩瀬・濱谷) (EF組: 岩瀬・小野・濱谷) (DH組: 岩瀬・小野)

使用教科書: (高等学校 精選古典探究 (第一学習社))

教科 国語 の目標:

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目 古典探究 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、古典に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配当 時数
			話	聞	書	読					
1 学期	A 単元 説話(一) 【知識及び技能】 語句の意味や用法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 展開を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 説話の特質の理解を深める。	教材 『古今著聞集』「小式部尚侍 が大江山の歌の事」 指導内容 音読/説話について知る/活用の復 習/助動詞 端末活用 学びのふりかえりシート作成	○				・著名な和歌にまつわる話を読み、説話として語り伝えられた背景事情について理解している。 ・説話という文章の種類や古典特有の表現に注意して、展開や内容を的確に捉えている。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章に表れる表現の特色、主として和歌の修辭について理解を深めている。	○	○	○	10
	B 単元 物語 【知識及び技能】 古典作品の特徴を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 構成や展開などを的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 和歌の修辭法を進んで理解する。	教材 『伊勢物語』(初冠・渚の 院) 指導内容 音読/内容理解/和歌の修辭法 端末活用 文学史的知識を検索してまとめる 学びのふりかえりシート作成			○		・物語の中で和歌が果たしている役割を押しえながら、場面と登場人物の心情を読み味わう。 ・歌物語という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・歌物語の特徴について理解を深める。 ・歌物語を読み、文語のきまりや古典特有の表現に注意しながら、積極的に内容を捉えようとしている。 ・学習の見通しを持って歌物語を読み、文章の中で和歌が重要な役割を果たす歌物語の特徴について理解を深めようとしている。	○	○	○	15
	定期考査							○	○		1
	B 単元 和歌 【知識及び技能】 古典作品の特徴を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 構成や展開などを的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 和歌の修辭法を進んで理解する。	教材 『古今和歌集』「仮名序」 指導内容 音読/内容理解/和歌の修辭法 端末活用 文学史的知識を検索してまとめる 学びのふりかえりシート作成			○		・わが国の伝統文化の一つである和歌の表現の特色を理解し、発展期の和歌を鑑賞している。 ・和歌という文章の種類や古典特有の表現に注意して、内容を的確に捉えている。 ・和歌の修辭などの表現の特色について理解を深めている。 ・文語のきまりについて理解を深めている。	○	○	○	12
2 学期	D 単元 故事・寓話 【知識及び技能】 漢文作品の特徴を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の感じ方、考え方を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 表現の特色を評価する。	教材 『推敲』・『吳越同舟』 指導内容 音読/内容理解/助動詞 端末活用 古語単語を調べる 意見交換 学びのふりかえりシート作成			○		・現在使われている言葉の由来となった漢文を読み、漢文が日本語に与えた影響について理解を深める。 ・故事・寓話という文章の種類をふまえて、構成や展開を的確に捉える。 ・書き手の考えや目的を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 ・故事成語の意味を進んで調査するとともに、その由来となった話を読んで、わかった内容を説明しようとしている。	○	○	○	12
	定期考査						○	○		1	
	C 単元 物語(二) 【知識及び技能】 語句の意味や用法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 構成や展開などを的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 敬語表現を積極的に理解する。	教材 『源氏物語』「若紫」 指導内容 音読/内容理解/助動詞/時代背 景の理解 端末活用 古語単語を調べる 学びのふりかえりシート作成			○		・歌物語と作り物語の二つの系譜を受け継ぐ長編物語を読んで、人物造形や心理描写の一端に触れる。 ・長編物語という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主として敬語表現に関する文語のきまりへの理解を深める。	○	○	○	14
	定期考査						○	○		1	
	D 単元 日記(一) 【知識及び技能】 語感を磨き語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 古典特有の表現に注意して読む。 【学びに向かう力、人間性等】 自伝的日記を積極的に理解する。	教材 『更級日記』「門出」 指導内容 音読/内容理解/助動詞/時代背 景の理解 端末活用 古語単語を調べる 意見交換 学びのふりかえりシート作成			○		・晩年になってまとめられた自伝的日記を読み、少女時代の自分を客観的に見つめた作者像を捉えている。 ・日記文学という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉えている。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにしている。 ・文語のきまりについて理解を深めている。	○	○	○	14
	定期考査						○	○		1	
A 単元 項羽と劉邦 【知識及び技能】 訓読のきまりについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 表現の特色について評価する。 【学びに向かう力、人間性等】 項王の心境を捉えようとする。	教材 『史記』「鴻門之会」 指導内容 音読/内容理解/時代背景の理解 端末活用 文学史的知識を検索してまとめる 学びのふりかえりシート作成			○		・登場人物の描写を読み解くことを通じて、戦乱の時代を生きた人々の人物像について考察を深める。 ・史伝という文章の種類をふまえて、構成や展開を的確に捉える。 ・作者の考えや目的を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 ・史伝を読み、自分のものの見方や考え方を深める姿勢を養う。 ・我が国の文化と外国の文化との関係について理解を深める。 ・訓読のきまりについて理解を深める。	○	○	○	12	

